

8/18-24#3花嫁の円熟:Ⅰ「円熟」という言葉のギリシャ語の意味は、「終着点」です:A造り変えられるとは、私たちの天然の命の中で新陳代謝的に変えられることです。円熟するとは、私たちを変える神聖な命で満たされることです。ヘブル6:1 こういうわけで、キリストの初歩的な言を後にして、再び基礎を据えることをしないで、円熟にもたらされようではありませんか。ローマ12:2 またこの時代にかたどられてはいけません。むしろ、思いが新しくされることによって造り変えられなさい。それは、何が神のみこころであるか、すなわち何が善であって、喜ばれ、完全なものであるかを、あなたがたがわきまえるようになるためです。B造り変えの最後の段階は、円熟、命の豊満です。C円熟した信者は、キリストのからだを認識し、顧慮し、からだの感覚を持ち、からだを中心としています。Ⅱ.新約で用いられている「円熟」という言葉は、信者たちが再生の時に受けたキリストの命の中で完全に成長し、成就されるということを指しています:A私たちは決して自分自身に満足すべきではなく、キリストの命における成長と円熟を追い求めるべきです。B私たちは前進し、円熟にもたらされ、後ろにあるものを忘れ、前にあるものに向かって体を伸ばし、キリストに対する最も満ち満ちた享受と獲得を追い求め、千年王国におけるキリストに対する極みまでの享受を持つようになる必要があります。ピリピ3:12 私は、それを捕らえようと追い求めているのですが、それは私が、キリスト・イエスによって捕らえられているからです。13ただ一つの事、すなわち、後ろにあるものを忘れて、前にあるものに向かって体を伸ばしつつ、14キリスト・イエスの中で私を上を召してくださった神の賞を得るために、目標に向かって追い求めています。15こういうわけで、成人した者はみな、この思いを持つようではありませんか。C霊の命における円熟の必要条件は、神聖な命において絶えず成長することです。Dキリストの命における信者たちの成長と円熟の最終結果は、完全に成長した人です。それは、キリストのからだとしての召会が成長して円熟した人となることです。Ⅲ.ヤコブは彼の書簡において、農夫が地の尊い実を辛抱強く待っているという例証を用いています。ヤコブ5:7 こういうわけで、兄弟たちよ、主の来臨まで辛抱強くありなさい。見よ、農夫は前の雨と後の雨を得るまで、地の尊い実を切に待っています。A主イエスは、実は真の農夫、唯一の農夫です。B私たちが主の来臨を辛抱強く待ち望んでいるとき、彼は真の農夫として、私たちが命において円熟して畑の初穂また収穫物となることを、忍耐して待ち望んでいます。C私たちが「主よ、早く戻って来てください」と祈るなら、主は言うかもしれません、「あなたがたが私の再来を

待ち望んでいるとき、私はあなたがたの円熟を待ち望んでいる。あなたがたの円熟だけが、私の再来を早めることができる」。D私たちが真剣に主の再来を待ち望んでいるなら、命において成長して円熟へと至る必要があります。このような認識は、私たちにとって大いなる助けです。Ⅳ.円熟することは、キリストが私たちの内に完全に形づくられることです。それはまた私たちが彼のかたちへと完全に造り変えられていることを意味します:A私たちの再生の時から、主は私たちの中で働いています。それは私たちに彼のかたちを持たせるためです。B主が彼のかたちを私たちの中へと完全に造り込んで、私たちを通して完全に表現されるとき、私たちは命において円熟します。V.雅歌第3章は私たちに、尋ね求める者の円熟を見せています。そして第4章は続けて、意志の服従によってそのような円熟に到達することを説明しています。尋ね求める者の円熟の秘訣は、彼女の意志が完全に服従させられ、復活させられたということです。雅4:4 あなたの首は、武器倉のために建てられたダビデの塔のようだ。その上には千の小盾、全て勇士の大盾がかけられている。A首は、神の下に服している人の意志を表徴します。主は、私たちの意志の服従を最も美しいものと考えます。B私たちが服従する意志を持つなら、私たちの意志はダビデの塔のように表現され、そこにはあらゆる種類の武器が収められています。1まず、私たちの意志は服従させられなければなりません。それから、それは復活の中で強くなり、ダビデの塔、霊的戦いのための武器倉のようになります。2霊的戦いのための武器は、私たちの服従し復活した意志の中に保たれます。Ⅵ.パウロの務めの目標は、キリストの中で円熟した、すなわち完全に成長した全ての人を、一人の新しい人のためにささげることでした。コロサイ1:28 私たちはこのキリストを告げ知らせ、知恵を尽くして全ての人を戒め、全ての人を教えています。それは私たちが、キリストの中で完全に成長した全ての人を、ささげるためです。Aコロサイ1:28の「完全に成長した」と訳されたギリシャ語は、「完全な」、「全体的な」、あるいは「円熟した」とも訳すことができます。Bパウロの務めは、キリストを他の人の中へと分与することでした。それは、彼らがキリストの中で円熟して完全に成長することによって、完全にされ、全体的にされるためでした。Ⅶ.創世記第37章から第47章は、ヤコブが円熟する過程についての記録です:A創世記第27章で、私たちは押しのける者を見ます。第37章で、造り変えられた人を見ます。そして第47章の終わりで、円熟した人を見ます。B造り変えの最終段階は円熟、すなわち、命の豊満です。1神の永遠の定められた御旨は、私たちの造り

変えと円熟を通してのみ完成されることができます。**2**円熟とは、神聖な命が私たちの中へと何度も何度も分け与えられて、ついには私たちが命の豊満を持つという事柄です。**C**円熟とは、度量が広げられる事柄です。**1**命における円熟とは、聖霊の管理を受けた総合計です。ヘブル12:10 肉の父は、自分の良いと思うようにしばらくの間、取り扱いましたが、霊の父は、益のために、私たちが彼の聖にあずかるようにと取り扱われるのです。**2**人々は命において円熟した人を見るときも、その人が長年にわたって毎日ひそかに受けてきた、積み重なった聖霊の管理を見ることはできません。**D**神は主権をもって人、物、事を用いて、私たちが満たしているあらゆる物から私たちが空にし、私たちが占有しているあらゆる物を取り除き、私たちの度量を増し加えて、さらに神で満たされるようにしてください。**E**ヤコブの生涯が啓示しているのは、私たちに起こるあらゆる事が神の主権の下にあり、私たちの造り変えと円熟のためであるということです。偶然は何一つありません。**1**ヤコブは円熟するために、まず彼の心の宝であるヨセフを失わなければなりませんでした。**2**円熟した信者が学んでいるのは、神があわれみ深く、全てに十分であって、あらゆる種類の状況における自分の必要を満たすということです。創43:14 全てに十分な神が、その人の前であなたがたにあわれみを与えてください。**3**彼の信頼と安息は完全に、全てに十分な神のあわれみの中にあり、もはや自分自身や自分の能力の中にはありません。**4**ヤコブの円熟の最も有力なしるしは、彼が他の人を祝福することでした。創48:15 そして、彼はヨセフを祝福して言った、「私の父祖アブラハムとイサクが御前に歩いた神よ、この日まで、私の全生涯にわたって私を牧養された神よ、**16** 全ての苦難から私を贖われた御使いよ、この少年たちを祝福してください」。

VIII. 円熟した花嫁は、神のみこころと定められた御旨の目標です啓19:7 小羊の婚姻の時が来て、彼の妻は用意を整えたからである。**9** 御使いは私に言った、「小羊の婚宴に招かれている者は幸いである、と書き記しなさい」。**A** 団体の花嫁の用意は、勝利者が命において円熟することにかかっています。**B** 小羊の婚姻は、神の新約エコノミーの完成の結果です。神の新約エコノミーとは、彼の法理的な贖いを通して、また彼の神聖な命における有機的な救いによって、キリストのために花嫁、すなわち、召会を得ることです。**C** ヨハネによる福音書において、キリストは罪を取り除く小羊として、また花嫁を持つために来た花婿として啓示されています。**D** キリストの目標は罪を取り除くことではありません。それは花嫁を持つことです。**1** 啓示録において、私たちはキリストが小羊であり、来たるべ

き花婿であることを見ます。ですから、花婿として、彼は婚礼を持たなければなりません。**2** 小羊の婚礼は宇宙的な婚礼となります。それは贖う方と贖われた者との婚姻となります。**3** キリストは花婿として来つつあり、私たちは花嫁として行きつつあります。**E** 極めて重要な事柄は、花嫁の用意です。**1** 啓19:8-9によれば、この妻(キリストの花嫁)は、千年期の間の勝利を得た信者たちだけから成っています。**2** 花嫁の用意は、勝利者の命における円熟にかかっています。勝利者は分離した個人ではなく、団体の花嫁です。**3** 啓19:6で大群衆の声は次のように宣言します、「ハレルヤ! 主、私たちの神である全能者が王として支配する」。**a** 神の支配、すなわち、王国は、小羊の婚姻と関係があります。**b** 婚礼は主の支配、すなわち、王国をもたらします。なぜなら、婚礼に招かれた全ての客は団体の花嫁であり、また花婿の共同の王でもあるからです。彼の共同の王はみな、彼の団体の花嫁です。**c** 勝利者にとって、千年王国の千年は婚宴です。**d** 婚宴に招かれているあらゆる人は、千年間の王として支配することにもあずかります。**e** 勝利者にとって、王国においてキリストと共に王として支配することは婚宴です。啓20:6 第一の復活にあずかる者は、幸いであり、聖である。これらの人たちに対して、第二の死は何の権威もない。彼らは神とキリストの祭司であり、千年の間、彼と共に王として支配する。**証** 私は以下のOLを用いて、円熟に向けた歩みを証します。**V. 尋ね求める者の円熟の秘訣は、彼女の意志が完全に服従させられ、復活させられたということです** 主は私の意志が完全に服従するように、対処し続けています。経験的には、最初は主の対処であることが理解できない段階におり、頻繁につぶやいていました。少し前進して、環境が主の対処であると理解してもなかなか納得していませんでした。43歳の時、転職の環境上の主のアレンジにより、成熟産業である製薬会社から、成長期にあった医療機器会社への転職を経験しました。これらの主の環境上の導きは、私の天然の感覚とは全く異なっていました。私は主の導きを理解せず、逆恨みして、努力して別の道を取ろうとしていました。これらの段階は、学歴で劣っている私を対処し、米系大手医療機器会社の日本法人の役員になるための準備でした。私は服従がなければ主のみこころを理解することができないこと、主の導きが最善であり、私の自己から出てきた道は最悪であることを理解しました。また、主に服する時、自分の度量が拡大しました。「**主よ、あなたに服さないことは、私を最も愚かな者にします。私は完全にあなたに服し、あなたが私に定められた道を歩みたいのです。**